

H26年1月

『難波駅周辺地区 帰宅困難者対策ワーキンググループ』の設置について

1. 設置主旨

難波駅周辺地区において、H24 年度に実施した帰宅困難者対策図上訓練の参加企業等を中心に、ワーキンググループ(WG)を設置し、図上訓練で抽出された主な課題等を中心に、役割分担など具体的な検討を行い、同駅周辺地区での対応マニュアルを作成することを主な目的とする。

主な抽出課題

- 一斉帰宅の抑制
- 正確な情報伝達
- 一時滞留スペースの確保・開設
- 一時滞留スペースの運営(安全な滞留と相互支援)[備蓄、トイレ等の対応等]

2. メンバー

鉄道会社、地下街管理者、商業施設、集客施設、オフィスビルなど

3. スケジュール案

[H25 年度]

- 1月27日 第1回 開催 WGの進め方、課題の確認など
- 2月末頃 第2回 開催 対応マニュアル(ver.1)素案の検討など
- 年度末頃 第3回 開催 難波駅周辺地区対応マニュアル(ver.1)作成など

[H26 年度]

- ・1～2ヶ月に1回程度開催
- ・引き続き検討を進め、対応マニュアルの充実を図り、年度内に取りまとめを行う。

必要に応じ、WGを開催するとともに、関係者へのアンケートやヒアリング等を行う。

4. 事務局

大阪市危機管理室

難波駅周辺地区 帰宅困難者対策 ワーキンググループ メンバー

大阪市交通局

西日本旅客鉄道株式会社

南海電気鉄道株式会社

近畿日本鉄道株式会社

阪神電気鉄道株式会社

大阪地下街株式会社

株式会社高島屋 大阪店

株式会社 湊町開発センター

株式会社 丸井 なんばマルイ

株式会社クボタ

(計 10団体 順不動)

事務局 : 大阪市危機管理室